

2021年2月臨時運営委員会資料（8）

アンケート結果を受けて、ホームページの活用

2021年2月19日

ホームページ担当 竹内

「じゃおクラブ 30 周年 会員アンケート」のホームページ部分の回答について HP サークルにて検討した結果、以下の方向で進めることとする。なお、地域じゃおの活動方向も決まっているので、本文書に添付した。

今後の方針

1. ホームページの制作・管理・運営は、地域ごとに、地域が、地域に合った形で行う。これによって地域ごとの要望に合わせたホームページを作ることができる。
 - 理由：ホームページのアンケート結果にある通り、要望に地域差が大きい。
 - ① 全体では「行事や活動の紹介の充実を図ってほしい」との意見が 58%を占めたが、この要望は県央とベイサイドに集中している。（県央 70%、ベイサイド 67%、湘南 45%、多摩・田園 35%）
 - ② 地域ごとに更新頻度に差がある。しかし、制作にどれぐらいの時間をかけられるかや制作メンバーの習熟度など、地域ごとに事情があるので、地域内で検討する。
2. 「高齢化対策・その他のアイディア」の設問に対して「HP を活用する」また、「ホームページに勧誘記事を掲載する」との回答が寄せられた。
 - 2019 年の改訂時より、各地域じゃおの HP には「会員募集」ページが用意されており、本部の「入会案内」ページが、入会希望者の入口になっている。また、ホームページ全体で活動を告知すること自体が新規会員にじゃおクラブを案内する役割を果たすことになるので、別途、勧誘記事を掲載する必要はないと判断される。
 - ホームページはもともと、受身の性格が強いものであり、集客を増やすには、地域じゃおごとに、①活動のさらなる充実と紹介、②可能な場合はブログなどとの連携、③地域の団体紹介イベントやチラシを通じてのホームページ活用などが欠かせない。
3. 地域じゃおごとの回答では「更新したらメールなどで知らせてほしい」が湘南と多摩・田園で高い。（湘南 40%、多摩・田園 30%、ベイサイド 17%、県央 10%）
 - 湘南と多摩・田園では更新の都度、メールで案内を送っているがゆえに、メール告知の継続を期待する要望と受け止め、現在の活動を継続する。
4. 地域ごとに他団体との交流や行政が行う団体紹介の一環として、HP の活用を図る。具体的には団体との相互リンクを設けることを検討する。
 - 相互リンクを設ける活動を通じて、地域の他の団体との交流を進めることに意味があると思われる。
5. コロナ禍の収束状況次第になるが、HP サークルでは勉強会の実施などを通じて、地域じゃおの HP 制作能力を高めるよう努力する。

地域ごとの活動の方向

2021年 湘南 HP の方向について

1. 湘南の HP の位置づけ

湘南における 2021 の HP の位置づけを次の①、②とし、HP の改善と充実を目指すこととした。

- ① HP を通じ会員相互の情報交換を図るとともに親睦を深めるツールとして活用する。そのためどんな掲載が良いのかを探りながら、HP の改善を図って行く。
- ② 新規会員募集のツールとしての掲載の仕方の工夫をする。

2. 目的を達成するための具体策

- ① 湘南には現在活動部会が九つあるが、掲載画面をみるとキャッチフレーズがないものが七つ見受けられる。まずは各活動すべてにキャッチフレーズを作り、それを前面に出した分かり易い HP を作りたい。まずは部会ごとに検討して頂き画面の刷新を図る。

- ② 各部会毎分かりやすく、かつ活動の楽しさが垣間見える画面とする。

例)

・四木会：1回／1ヶ月で例えば宗匠の特選句3句を講評付きで掲載するなどし、頁の刷新を図る。

・農園：1回／3ヶ月で例えば目玉となる収穫物を掲載し頁の刷新を図る。

収穫品の掲載（含む収穫時の写真）、それを使った料理の紹介他

他の部会に於いても同様なことを考えて頂き1～3ヶ月に一回は画面の刷新を図る。

- ③地域じゃお毎に地域の団体とのリンクについて話し合ったが、マイナス面もあるので慎重に検討しリンク先を決める。

※ 会議参加者：島村、増田、古岡、宮澤

2021年県央HPの方向について

県央HP担当 石川、大場

1. 行事や活動の紹介記事を充実させるには？

1) 会員のページを活用していくことで進める。

・現在「県央会員のページ」で、皆さんの活動ページ（ブログ）と、活動記事を topics に記事投稿を継続する。

・ブログをつくらなくても、じゃお活動以外の趣味・意見なども掲載することを検討。

2) じゃお HP を世話人会議のときにプロジェクタースクリーンを見ながら意見を求め改善を図る。

2. 会員間のコミュニケーションツールとして活用できるか？

1) 「県央会員のページ」の改善を図りコミュニケーションツールの核とする。

2) 毎月の世話人会議事録を掲載し、出席していない会員が HP をクリックする機会を増やす。

また、活動についての意見などをワードで送ってもらうこと等検討する。

3. 更新時の会員の告知はどうなっているか？

1) 更新があった場合は、毎月の世話人会議事録発行時に連絡をしているので継続する。

2) 内容そのものはそんなに変更がないと思われるので、ページ更新はそれほど必要無いのでは？

4. 会員勧誘記事の掲載 効果を上げるために何が出来るか？

1) じゃお県央のチラシの HP での位置づけを検討する。

2) 他団体との交流を更に強化するため相互リンクを設けることを検討する。

他団体の活動は参考になると思われるので相互リンクは必要だと思われる。さらに、ここからリンクをたどるために我々の HP をプラットフォームとしてクリックするようになれば訪問者が増加すると思われる。

以上

ベイサイド

ベイサイドの会員を対象にじゃおホームページやベイサイドページについて意見を聞きました。

特に提案や要望等はありませんでしたのでベイサイドページの運用は現状通りとします。

2021年多摩・田園ホームページ運営方針

運営委員 竹内 純一

2021年の多摩・田園ホームページの運営方針を次の通りとする。

目的

ホームページを運営する目的は従来と変わらない。

1. 一般に対する広報媒体として運営し、じゃお多摩・田園の活動を幅広い方々に告知する。この延長線上として、新規会員募集の一助とする。
2. 会員間のコミュニケーションツールとして運営する。

2021年の活動方針

1. 現在の活動実態に合わせて、ホームページの改訂を行う。
 - 「里山歴史散策」と「施設見学」を廃止し、新たに「仲間と街歩き」のページを制作する。(済)
 - 「おしゃべりの会」のページを新設する。ただし、「おしゃべりの会」はコロナ禍における期間限定の予定。(制作中)
 - 常に各ページを最新に保つ。季節に合わせた写真、新しい写真が入手できるなどした場合は、更新すると共に、必要に応じて文章を改訂する。
 - 以下のページはコロナ禍で活動を休止中であることを表示する。(済)
「蕎麦打ち体験」「工作教室」「ランチ&カラオケ」「出前歌声カフェ」「飲みにケーション」
 - 以下のページ(及び活動)はコロナ禍でオンラインを活用していることを表示する。(済)
「グラフィーズ」「定例会」
2. 「多摩・田園気まぐれ日記」の投稿を継続する。
 - 活動が少なくなり、投稿の数を確保するのが難しくなりつつあるが、数が減ったとしても投稿を継続する。目的は会員間のコミュニケーションのためである。
3. 更新の都度、会員に対するメール告知を継続する。
 - アンケートにおいて、メール告知の継続を期待する要望が多かったため。
4. 他団体との交流や行政が行う団体紹介の一環として、HPの活用を図る。具体的には団体との相互リンクを設けることを検討する。
5. 他の地域じゃおから求めがあれば、HPサークルにおける勉強会などを通じて、技術支援を提供する。